

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名：岩手県 盛岡地方振興局 土木部

事業の名称：盛岡駅本宮線(中央大橋)整備事業

事業主体名：岩手県

事業の目的

盛岡駅本宮線は、県都盛岡の都市軸の中心となる道路として、都心地区の交通を確保するとともに、既存都心地区と適正な機能分担の基に新しい都心を形成するための「核」となる幹線道路であり、バスを中心とした公共交通軸としても位置付けられている。

本事業は、盛岡の21世紀の街づくりを支える都市軸を実現するため、整備を行うこととしたものである。

事業概要

事業名：盛岡駅本宮線（中央大橋）

路線名：盛岡駅本宮線

事業箇所：盛岡市中川町～盛岡市本宮

事業延長：925 m

幅員：11.35～29m（暫定2車線～一部完成4車線）

総事業費：約59億円

事業期間：平成8年～平成18年

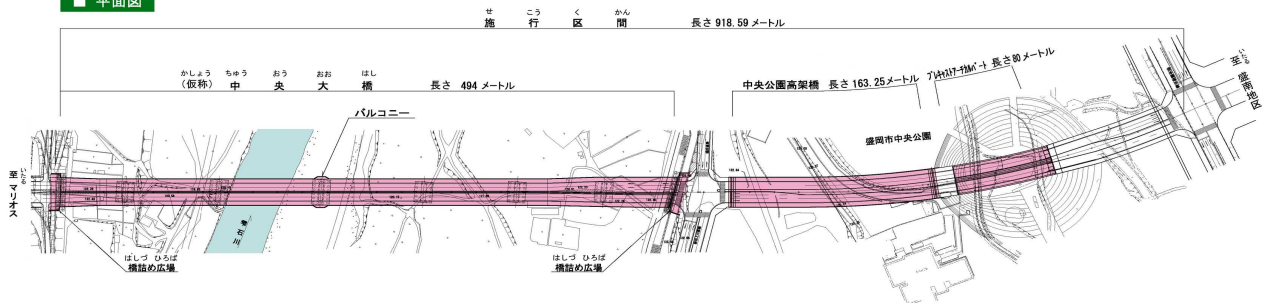
本事業は、雫石川を渡河する中央大橋（正式名称は、公募により、「杜の大橋」と命名）7径間連続PC箱桁494m、盛岡市中央公園を貫く9径間連続RCアーチ橋163m、アチカルバート80m、取付道路188mの事業延長925mを整備したものである。架橋地点は、白鳥の飛来や野鳥の生息地となっている他、岩手山をはじめ周辺の山々が見渡せる眺望のよい、自然と景観に恵まれた場所として、環境に配慮するとともに景観との調和を図った橋とした。

事業位置図

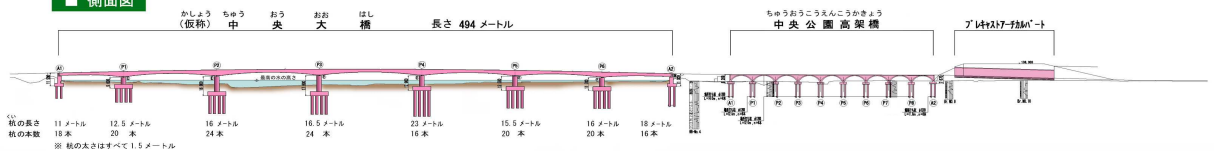


全体図(平面図・側面図・横断面図)

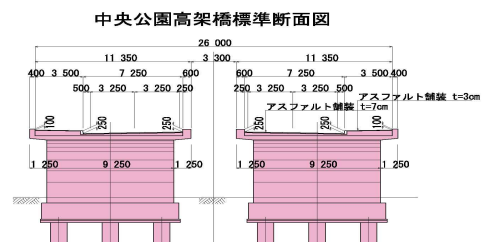
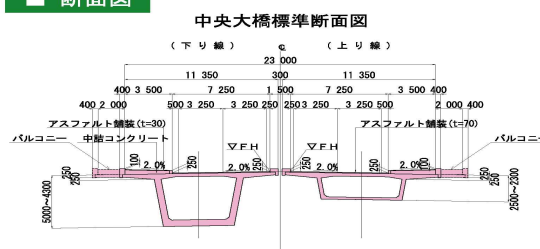
■ 平面図

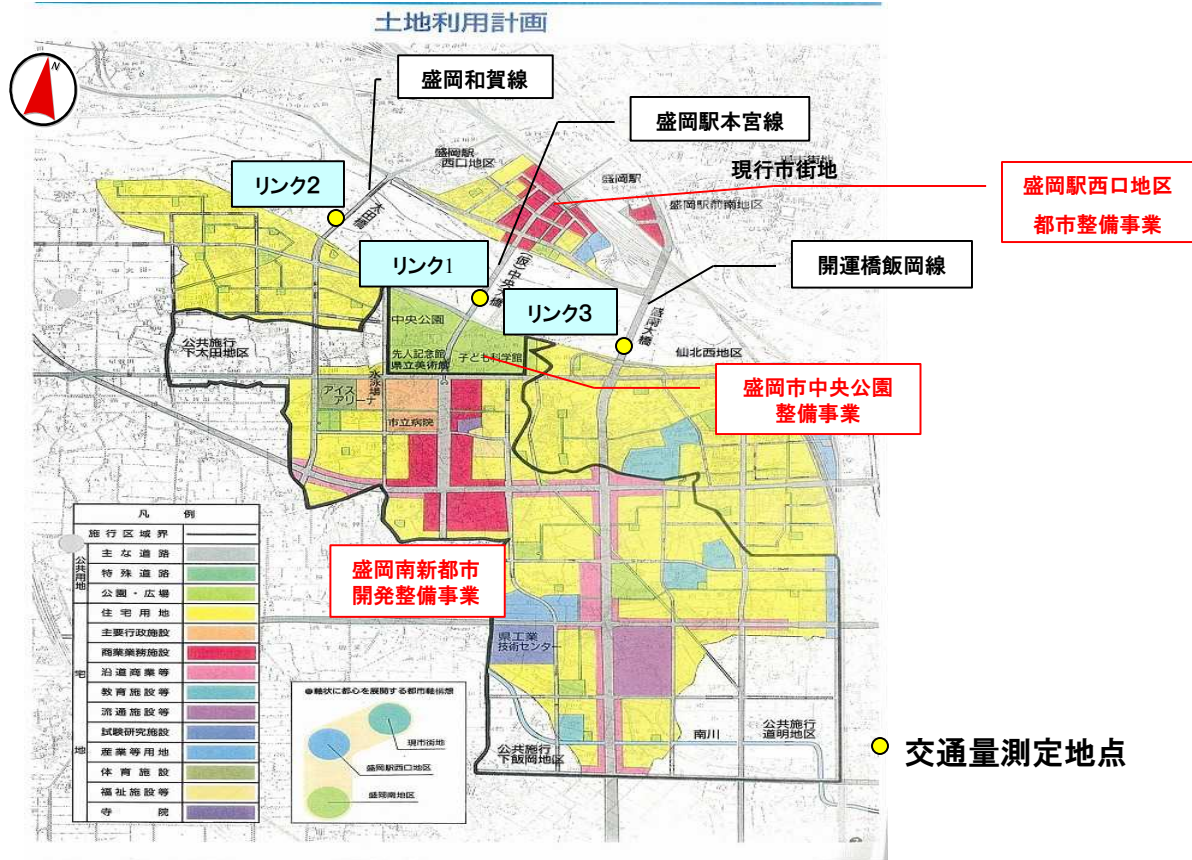


■ 側面図



■ 断面図





○事業概要

事業名:盛岡駅本宮線(中央大橋)
路線名:盛岡駅本宮線
事業箇所:盛岡市中川町～盛岡市本宮
事業延長:925m
幅員:11.35m～29m(4車線)
総事業費:約59億円
事業期間:H8～H18年度

○交通量調査結果

供用前 平成18年10月26日
供用後 平成19年10月23日

リンク1)
交通量 0→8,263台
旅行速度0Km→48.2Km

リンク2)
交通量 18,880台→16,297台
旅行速度27.2Km/h→31.8Km/h

リンク3)
交通量 24,526台→20,978台
旅行速度32.7Km/h→37.1Km/h

「整備効果」

○隣接する路線の交通量約15%減少

○旅行速度の向上

盛岡和賀線 27.2Km/h⇒31.8Km/h

開運橋飯岡線 $32.7 \text{ Km/h} \Rightarrow 37.1 \text{ Km/h}$

盛岡駅本宮線 48.2Km



事業前:平成8年度以前撮影

事業後：H19.5

平成8年度以前撮影



平成19年5月撮影



平成19年5月撮影

平成19年5月撮影

